

～日本で最も多くの特攻隊が飛び立った地～

鹿児島・<sup>かのや</sup>鹿屋市で

# 平和を学ぶ



## I 太平洋戦争の歴史（抜粋）

時 期	出来事
1941(昭和16)年12月	真珠湾攻撃により、太平洋戦争が始まる。
1942(昭和17)年6月	ミッドウェー海戦の敗北により、日本の攻勢が止まる。
1943(昭和18)年2月	ガダルカナル島の敗北
1944(昭和19)年7月	サイパン島が陥落
1945(昭和20)年3月	東京大空襲 沖縄が陥落
1945(昭和20)年8月	広島・長崎に原子爆弾が投下 ポツダム宣言を受入れ、日本が降伏

## II <sup>かのや</sup>鹿屋と戦争の関わり

時 期	出来事
1941(昭和16)年2月	海軍鹿屋基地内にて、真珠湾攻撃の作戦が伝えられた「鹿屋会談」が行われる。
1945(昭和20)年3月～	沖縄へ特攻隊が出撃 (鹿屋基地 908名、串良基地 363名) ※日本で最大の戦死者
1945(昭和20)年8月	終 戦
1945(昭和20)年9月	鹿屋市・金浜海岸に進駐軍が上陸

### ※特攻隊（特別攻撃隊）とは

特別攻撃とは、戦闘機の搭乗員が自分の命と引き換えに、機体を敵艦に体当たりさせる玉砕戦法で、戦況が悪化した太平洋戦争末期に、本土へのアメリカ軍上陸を少しでも阻むために行われました。

特攻隊のほとんどは、九州南部から沖縄方面へ出撃し、再び祖国へ帰ってくることはできませんでした。

### Ⅲ 鹿屋市内に残る戦争関連施設

#### ① 鹿屋航空基地史料館

海軍から特攻隊として亡くなった隊員の遺影や遺書、「ゼロ戦」、世界で唯一現存する「二式大型飛行艇」などが展示されています。

【テーマ】過去を学び、今を知り、未来を考える



#### ② 旧鹿屋航空基地特別攻撃隊 戦没者慰霊塔 (小塚公園)

鹿屋基地から特別攻撃のため沖縄に飛びたった若者たちの御霊を祀るために建立された慰霊塔です。908名の犠牲者の名前が刻まれています。



### ③ 串良平和公園

海軍串良基地<sup>くしら</sup>から出撃し命を落とした特別攻撃隊363名、一般攻撃隊210名、計573名の方々の御霊を祀る慰霊塔がある公園です。慰霊塔を囲むように、戦時に特攻隊が飛び立った滑走路が今も道路として残っています。



### ④ 串良基地第一電信室（地下壕）

海軍串良基地から出撃した特別攻撃隊から送られてくる、最後の通信を受信していた施設です。空襲を避けるため、地下に作られています。

特攻隊は、敵機に突入する寸前まで、通信を送っていました。

(信号) セタセタセタ ツー	(意味) 我 戦艦に突入す
(信号) クタクタクタ ツー	(意味) 我 駆逐艦に突入す
(信号) ホタホタホタ ツー	(意味) 我 空母に突入す

